

京都聖カタリナ高等学校 スクール・ミッション

1. 自己の幸せを望むと同時に他者の人格をも受け入れ、
愛することができる人となること。 (目指すべき学校像)
2. カトリック精神に支えられた感謝の心を尊びつつ、 (存在意義)
新たな文化や価値を創造し、地域社会へ貢献する精神と行動力をもつ人を育てること。
(期待される社会的役割)

1. スクールポリシー(育成を目指す資質・能力に関する方針)

- A.カトリックの智恵に支えられた地域や社会へ貢献・奉仕する心(協働的奉仕の心)
- B.課題に立ち向かう探究心と感性(行動力)
- C.科学的で論理的な思考方法(知識・理解力)
- D.必要な情報を集め責任ある判断をする能力(自立性)

2. スクールポリシー(カリキュラムポリシー:教育課程の編成及び実施に関する方針)

- A.個々の生徒にとって最適な学びを提供することによる学習意欲の喚起
- B.多様性(身体的特性・経済環境・能力や資質)への理解を基本とした評価手法
- C.学びを保障し教育格差を低減させる
- D.主体性を重んじ対話的な授業形態による深い学びを目指す
- E.「自前主義」から脱却し学校外の教育資源を最大限活用
- F.多様な価値観が集まるキャンパスを目指す
- G.社会状況を反映した柔軟な教育課程
- H.教科横断的な視点に立った資質と能力の育成
- I.地域社会の持続的発展を担う次世代を育てるという視点

3. スクールポリシー(アドミッションポリシー:入学者の受け入れに関する方針)

- A.カトリックの教えに基づいた、校訓・教育理念に理解できる人
- B.自分のことだけでなく他の人の立場に立って物事を考えられる人
- C.命を大切にし、人の尊厳を守れる人
- D.プラスの意識をもち、行動ができる人
- E.目標をもって、自分の将来を考えられることのできる人

4. カリキュラム・マネジメント

- A. 「何ができるようになるか」(育成を目指す資質・能力)
- B. 「何を学ぶか」(教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成)
- C. 「どのように学ぶか」(各教科等の指導計画の作成と実施、学習指導の改善充実)
- D. 「子供一人一人の発達をどのように支援するか」(子供の発達を踏まえた指導)
- E. 「何が身に付いたか」(学習評価の充実)
- F. 「実施するために何が必要か」(学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策)
- G. 校訓・方針に基づき、プラスの意識と自他を認め、受け入れる愛と赦しの気持ちを育む (学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策)